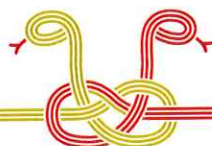


サン・レモだより



令和6年度 後期号



医療法人 心々和会 サン・レモ リハビリ病院 広報部

佐世保市江上町4848-1 ☎ (0956) 58-5900

[https:// www.kokowakai-sanremo.com](https://www.kokowakai-sanremo.com)



令和7年 新年のご挨拶



理事長 浅井 貞宏

令和7年、新年明けましておめでとうございます。

今年は皇紀2685年、西暦2025年、明治158年、大正114年、昭和100年、平成37年、サン・レモ32年、心々和5年、佐世保国際通り4年となります。

さてここで、本院の関係する昨年の出来事を振り返ってみましょう。

それが、新年への対応の基本になります。

まず、令和6年の診療報酬改定は、6年に1回のトリプル改定となりました。

本院にも、その医療区分の見直しの影響が及んでいます。個々の患者様の医療区分を、医師・看護師の協力のもと、更に適正に見直していきましょう。

日本医療機能評価機構の審査が、6月27日・28日に行われました。吉良院長・橋口事務長・官看護部長、他皆様の努力により、無事審査に合格し、10月4日付で“医療法人心々和会 サン・レモ リハビリ病院が日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることを証する。(認定6回目)”との認定証を受け取りました。ロビーにも提示していますのでご覧ください。皆様本当にご苦労様でした。

さて、10月11日には、衆議院議員選挙を控え、金子容三候補の総決起大会が、中部コミュニティセンターであり、福岡資麿厚生労働大臣が、応援に来られました。10月27日の投票では、皆様のサポートで金子氏は無事新長崎3区で 당선されました。 당선後、御礼の挨拶に来られました。このように昨年の動きの中での新年です。

今年、国際通り病院においては、地域包括ケア病棟を、現在の34床から60床に増やすべく努力しています。

本院でも、これに連携して、患者様の適正分担を致しましょう。

それでは、新年が両病院に関係する皆様にとって、輝かしい年になりますよう、皆で協力致しましょう！



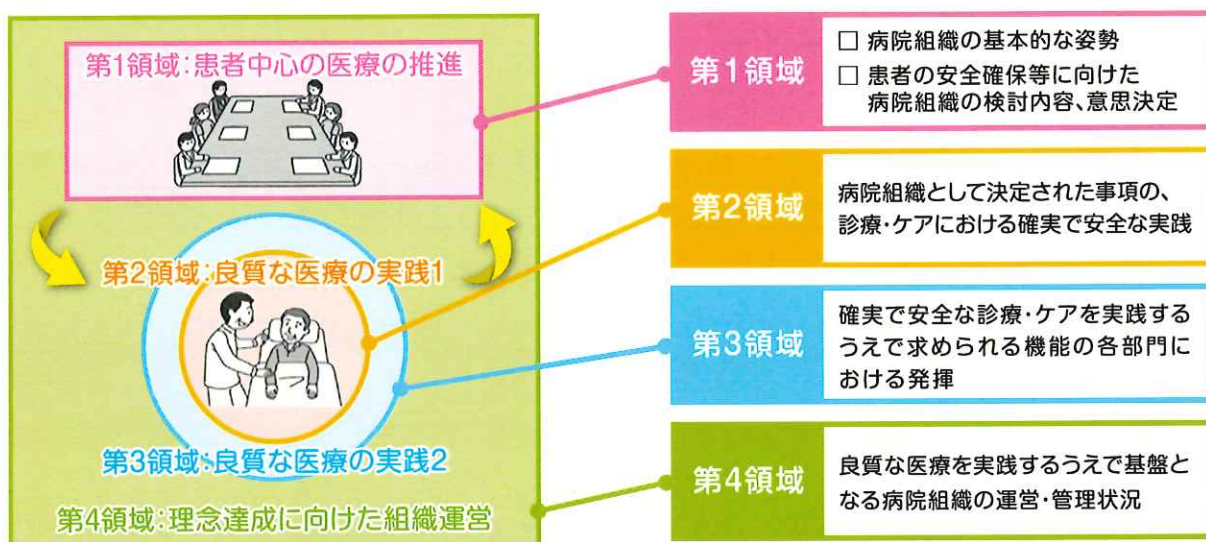
病院機能評価とは

病院機能評価は病院の質改善活動を支援するツールです。

我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、
病院機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行います。

評価対象領域とは ～何を評価するのか～

病院機能評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、
4つの評価対象領域から構成される評価項目を用いて、
病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価します。



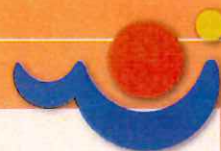
サン・レモ リハビリ病院は、令和6年6月27日・28日の2日間で
機能種別の慢性期病院評価を受審し、認定を受けることができました

～認定との結果を受けて、看護部長より～

看護部では8か月前から受審の準備に取り掛かりました。まず、自己評価調査票をつけながら前回受審の改善事項が継続できているかを確認しました。次にC評価(一定の水準に達しているといえない)になるような項目を師長会で検討しA評価(適切に行われている)になるよう改善し、並行して基準・手順・マニュアルの見直しと院内感染、医療安全、看護記録や教育に関する取り組みを行いました。最後に病棟訪問と今回新しく導入されたカルテレビューについて理解し対策を検討しました。日常業務に加えて審査に向けた準備を行うことは大変でしたが、第三者から病院の機能を評価される機会は貴重であり、自分たちが「常識」と思っていることがそうでないと気づくことができました。また、良質な医療と看護ケアの質の向上には、多職種との協働が不可欠であり、病院全体で取り組むことで患者さんにとっては安全で快適に、職員にとってもより働きやすい環境づくりができると思います。機能評価認定が目標ではなく、今後も継続的に看護部門および病院全体の質改善に取り組み、地域へ貢献していきたいと考えています。

※病院機能評価機構のホームページより資料等引用

サン・レモ リハビリ病院



基本理念

人々の心が和む温かな医療・保健・福祉サービスを提供し、地域に貢献します

モットー

人間性・学問性・経済性の全てを備えた医療・保健・福祉を行う

基本方針

1. 人とのつながりを大切にし、地域の医療・保健・福祉などとの連携に努めます
2. 患者様が安心・安全に療養できる、心のこもった環境づくりに努めます
3. 安全で質の高い医療を目指し、知識と技術の向上に努めます

サン・レモ リハビリ病院は、病状の安定している時期の患者様を対象に医療ケアやリハビリテーションのサービスを提供する慢性期病院です。入院患者様の多くは、75歳以上の高齢者で急性期病院や回復期病院での治療後、医療ケアが必要なため、自宅や施設へ戻れない患者様です。

今後、この高齢化社会で地域での暮らしを支えていくためには、リハビリテーションをはじめ、個々の患者様の状態に応じた医療環境を整備し、職員は認知症対応力の向上やターミナルケアの質の向上が必要であると考えられます。私達、サン・レモ リハビリ病院の職員は、医療法人心々和会の理念に基づき地域医療を担っていけるように努力していきます。



介護教室で講義を行いました

R6年7月22日、西陣の内公民館で開催された佐世保市地域介護予防活動支援事業に参加しました。「心疾患について」を官看護部長、「脳卒中について」を稲富リハビリ科長がそれぞれ10分程度の講義を行いました。質疑応答では、講義内容はもちろん講義内容以外の質問があり、住民の方の熱心さが伺えました。質問について回答すると、不安が解消された様子で皆さんが笑顔になられ、参加者の一人は「今日は病院の職員さんの講義があると聞いて、久しぶりに参加しました」と話されており、今回の講義が地域の皆さんのお役に立つことができた実感しました。最後は西陣クラブの代表者から、現在実施している様々な取り組みを紹介してもらい地域での介護予防について改めて勉強になった日でした。

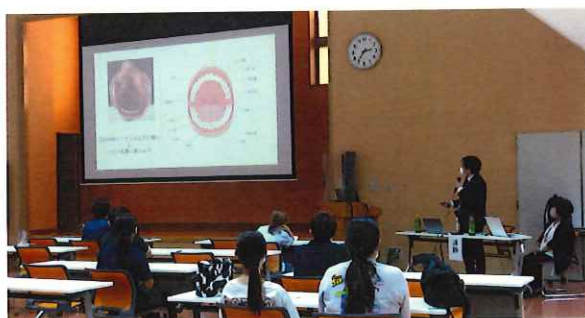


口腔ケア研修会に参加しました

令和6年8月3日(土)に佐世保地域リハビリテーション広域支援センター主催の口腔ケア研修会が開催され、当院の職員3名が運営スタッフとして参加しました。

口腔ケアに関する知識と理解を深め今後の業務の一助になることを目的に、保健・医療・福祉に関わる方に向け開催されています。今年の内容は、口腔ケアの座学、講師による口腔ケアのデモンストレーション、相互実習でした。

参加された方からは『口腔ケアの重要性について、とても勉強になりました。口腔ケアの方法を学べて良かったです。』などの感想をいただき、歯科医師、歯科衛生士、広域支援センターのスタッフの方々の協力のおかげで参加者の皆様に実りのある良い研修会と感じていただけたのではないかと思います。



通所リハビリ ～敬老会～



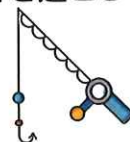
令和6年9月11日12日に敬老会が開催されました！！
その様子をご紹介します♪



たくさんのお花を飾り日頃の感謝を
込めて手作りのメッセージカードを
お渡ししました。



レクリエーションでエアー
ヨーヨー釣りを行いました。
すぐ釣れる利用者様もなか
なか釣れない利用者様も皆
さま一個は釣っていただき
喜んで持って帰っていただ
きました。
通所ではイベントごとにい
つもとはひと味違うレクリ
エーションを利用者様と一
緒に楽しいひと時を過ごし
ております。



通所 だより

通所リハでは通所とB棟の間にあるスペースを使い、お花や野菜を育て利用者の方にも、種まき・草むしり・収穫などに参加していただいております。利用者の方々に教えていただきながら行っています。



💠 キレイに咲きました 💠



R6年10月末
芋掘りをして
焼き芋を
楽しみました。



冬野菜の大根や
ほうれん草・キャベツ・
人参を育てています。

空地だった場所をたくさんの方にご協力頂きながら畑作りを始めました。
今では「畑に行こう!」と利用者様から言われる事も☆
外の空気に触れて、皆さんリフレッシュされています♪
今後も野菜やお花で四季を感じ、楽しんで頂けるように計画中です!! ♪



行事食紹介

令和7年1月1日昼食のおせちは折に詰めて見た目も豪華に仕上がりました。



昼食 おせち



夕食 ちらし寿司

編集後記

今年の冬はとても寒く、インフルエンザや新型コロナウイルスが流行し、病院内もザワついていますが、これまで通り感染対策を怠らず、対処していきましょう。

今年も皆様とサン・レモ リハビリ病院にとって良い年になる様願っています。

(広報スタッフ一同)